

# 視聴覚教育

NO 46

発行日 53.10.2  
 発行部 AVL  
 編集員 廣報員会

## 意欲的な自作教材作り

「ビデオを中心とした自作教材の活用は、多くの教科で実践されてきている。特に小学校の社会科や理科学習・中学校の英語学習などで多くの成果をあげている。

市販の教材や一律に添えられてくるテレビ番組だけでは、どうしても効果のあがらない單元もある。こうした中で授業室・生徒の実態を「かみながら」、必要に迫られた自作教材の制作がなされている。

作品としての価値観と同時に制作過程での教材研究に対する素まわりも見落とすことはできない。

視聴覚ライブラリーを中心とした自作活動では、自作委員会が軸となって精力的な活動をしている。

現在、自作委員会が制作している作品は、



「駒立のアドウ」

対象小三社

「間屋町地」

対象小三社

「地形模型」

対象小三社

「米づくり」

対象小三社

「岡崎の伝統産業「ミシヅクリ」」対象小五社

のビデオ教材と、ハミリ作品

「しめのなわ」——大門町

の計六本である。

「ビデオ教材は、小学校五年間、小学校三年生社会科の郷土学習に利用できるものを中心としてきたが今年度は、新指導要領との関連から、五年生教材として、岡崎の伝統産業である「ミシヅクリ」の作品にも着目している。

学習への動機づけや学び方にも目を向け、単なる資料として、終わらないような作品にしたいと考えている

ハミリ部門は、「しめのなわづくり」を手がけている。これは、昔から伝わる技術を生かして、地域の生活向上に役立てている一人の人間を描き、社会教育での活用にも役だてる作品として、仕上げを急いでいる。



# 実践研究

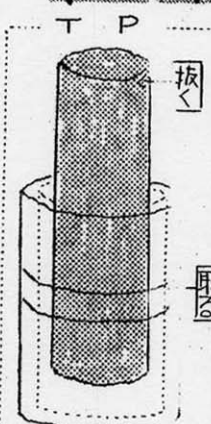
## 著者 味あわせる 問題

↑問題↓  
 うちのりで、底面の半径が六センチメートルの円柱形の容器に、半径二センチメートルの円柱の棒がまっすぐ立っています。これに水を九センチメートルの深さまで入れ、中の棒をとると水の深さは何センチメートルになるでしょう。

これは、六年生の算数の問題なのです。きわめて難解な問題で、学校の殆どの児童が解くことができませんでした。

この難問を児童自らの力で解かせるために、次のようなT.P.づくりをし、展開してみました。

その結果、問題解決への糸口を児童の力で見つけ出すことができました。



抜く

取る

(男川小 杉浦 富士夫)

※ 中筒を抜くと水の一部分が減る。これを可動させヒントとした。

## ライブラリー

十月十二日から十月四日まで、ライブラリーの職員が名不在となる関係で、配達サービスを一時的に停止させていただきます。この間、貸出し、返却等は直接ライブラリーの方へお越し下さい。

配達サービス一時停止のお知らせ

## 自作 作品の募集

県教育サービスセンターの行う、自作T.P.作品の応募締切が迫ってきました。この機会に、多くの先生方が、ふるって応募されますようお願いいたします。

◇応募方法—一人一点(T.P.の枚数には制限なし)

- ・作品は封筒に入れ、出品票を貼付、
- ・T.P.一枚ごとに校名・氏名を記入、
- ・出品票を二十枚コピーして同封

◇提出期日—十月二十八日(土)(地区締切)

◇提出先—岡崎市視聴堂ライブラリー

◇その他—右記の締切に間にあわない場合は、十月三十一日まで、直接サービスセンターへ(郵送)

・くわしくは教育公報二九七号を参照のこと